

令和6年12月5日

守谷市議会議長 殿

委員長： 渡辺 大士 印

報告者： 滝川 竜雅 印

都市経済常任委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり実施したので報告します。

視察・研修日		令和6年11月21日（木）
視察・研修場所		長野県 長野市 長野市役所
視察・研修項目		企業立地・企業誘致について
参加者	守谷市側	守谷市議会：渡辺大士、首藤太亮、寺田文彦 高梨隆、椎名愛子、滝川竜雅 守谷市役所 生活経済部長 鈴木規純 議会事務局：岩地 祐子
	相手側	長野市役所：経済産業振興部 企業立地課 課長 関谷隆行 課長補佐 堀内健司 課長補佐 廣瀬隆之
視察・研修目的		守谷市は、雇用機会の拡大や、市内取引量の増大等、経済循環をプラスに推し進める原動力となる企業立地・企業誘致に積極的に取り組む必要がある。
視察・研修内容		企業立地・企業誘致について
視察・研修総括 （今後の取組み等）		守谷市の経済基盤強化及び持続的な発展や、人を呼び込むことによる都市の活力を高める。 産業用地整備・企業誘致・立地環境整備を推進し、企業の拡大・成長や産業の新陳代謝を促し、魅力ある働く場の創出や市民所得の向上に繋げる。 →未来への戦略的な投資により、経済の好循環を創出することにより、魅力ある街づくりを目指す。

視察・研修内容

●長野県 長野市 概要

面積 : 834.81k m²
人口 : 368,785 人
世帯数 : 164,058 世帯
人口密度 : 441.8 人/k m²

■産業立地に関する現状

①産業構造

- ◆情報通信業…全国・県と比較して、市内総生産に占める割合が高い。
 - ◆製造業…生産額、付加価値額、事業所規模が大きい、他産業と比較して生産額あたりの付加価値額が小さい。
 - ◆電子部品・デバイス・電子部品回路製造業、情報通信業、情報・通信機器製造業…稼ぐ力も大きく、他産業へ与える効果も大きい。
- さらに、全国と比較し、産業別雇用者所得構成比が高い。

②製造業の特徴

- ◆食料品、電子部品・デバイス・電子回路、情報・通信機器…製造品出荷額が大きい。
- ◆電子部品・デバイス・電子回路・食料品…製造業の粗付加価値額全体の1/2弱を占め、中核市と比較して労働生産性が高い。

③土地利用の状況

- ◆分譲可能な産業用地はほとんどない。
- ◆市街化区域内（工業系用途地域）で一定規模以上の面積が確保でき、かつ産業用地として活用が可能な土地はほとんど確認できなかった。
- ◆既存の工業系用途地域で、住宅用地としての土地利用が進んでいる。

④長野市経済を取り巻く社会経済情勢

- ◆人口減少・少子高齢化の進行
- ◆デジタル技術の進展とDXの推進
- ◆脱炭素社会への転換
- ◆ライフスタイルや価値観の多様化
- ◆産業用地の確保に向けた取り組みの強化

■産業立地の方向性

方向性①挑戦や成長を支える

→環境・エネルギー・バイオ・宇宙関連

方向性②強みを活かす

→情報通信・成長ものづくり・食品関連

方向性③地域特性を活かす

→流通、物流・観光、スポーツ・農業関連

■長野市産業立地へのビジョン

経済の基盤強化や都市の活力を高めるため、企業立地の推進と併せて働く人の生活基盤となる、街の魅力向上に繋げていくことを目指し、今後の施策の方向性を示す「長野市産業立地ビジョン」を策定し、部局横断体制により、企業誘致や立地の受け皿となる産業用地整備など企業立地につながる各種施策に取り組んでいく。